

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和4年1月31日

協議会名：	飯田市地域公共交通改善市民会議
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>飯田市は、日本のほぼ中央に位置し、長野県の最南端、いわゆる伊那谷の中心都市である。人口は約10万3千人、面積は約659km²、東に南アルプス、西に中央アルプスがそびえ、中央を天竜川が南流し、山すそは扇状地と段丘が広がり、標高差2,700mを超える日本最大級の谷地形の中にある。</p> <p>広大な市域に都市部、郊外、過疎地域を含む中山間地域など多様な特性を持った地域であることから、地域公共交通についても全市一律の対応とはせず、それぞれの地域特性に応じたきめ細やかな運行に取り組んでいる。地域公共交通網は、中心市街地(JR飯田駅)から放射状に展開しており、郊外、過疎地域を含む中山間地域まで広く運行している。</p> <p>通勤通学の時間帯は、バスによる路線定期運行を行い、高齢者が通院や買い物に利用する昼間の時間帯は、デマンド型交通の乗合タクシーを運行することにより、効率的な運行体系を実現する。</p> <p>今後、高齢者の増加が考えられることから、高齢者の使いやすい方法や、乗合タクシーの使い方の周知を行うことにより、新たな利用者の獲得を目指す。</p>